

合格体験記

島田 渉平

出身中学校：皇學館中学校

進路先：静岡大学 情報学部 情報社会学科

- 合格校：1. 愛知大学法学部法学科
2. 近畿大学法学部法律学科
3. 皇學館大学現代日本社会学部

私はどちらかというとあまり熱心に勉強をするほうではありませんでしたが、日々の授業は毎日休まずにしっかりと出ていました。

私は6年間で一度も塾や予備校等には通ったことはありません。一日の勉強の大部分は学校の中で取り組みました。よく学校の課題をないがしろにして塾の課題に熱心に取り組む人もいますが、日々の授業や課題にしっかりと取り組んでいけば全くその必要はないと私は思います。授業の中で理解を深めておけば後々復習をする時にも無駄な時間を使わずに済みます。

私からのアドバイスとして、センター試験の過去問は早めに取り組んだほうがいいです。センター試験は時間配分が一番大切だと思います。時間配分をうまく身に着けるためにも早くから取り組んでおいて試験に慣れておくといいと思います。模試をできるだけ受けることでも試験慣れすることができ、有効だと思います。また、理科や社会教科も早急にセンター対策をすべきです。学校の授業ももちろん大切ですが、センター試験で受験する教科を早く決定し、取り組んでおいたほうがいいです。この2つの教科に関しては、やればやるほど点数につながります。国語や英語よりも点数が比較的容易に伸びやすいようにも思います。

英語や国語、数学に関しては日々の積み重ねが大切です。特に英語は毎日単語を覚える数を覚えて取り組んでいくことをおススメします。単語がわからなければ英文は読むことができません。またわからない単語に出会ったらその都度辞書で引いておきましょう。カタカナ語のアクセントにも要注意です。

そして一番大事なことは最後まであきらめないこと。受験は最後まで何があるかわかりません。体調を万全にし、最後まで全力で取り組みましょう。

広田 匠

出身中学校：皇學館中学校

進路先および合格校：滋賀大学 経済学部 社会システム学科

- 合格校：1. 滋賀大学経済学部社会システム学科
2. 学習院大学文学部日本語日本文学科
3. 龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻
4. 龍谷大学文学部日本語日本文学科
5. 近畿大学法学部法学科

私の勉強は自宅学習中心でした。自分の進路のために必要なものを自分で確認しながら勉強に取り組んだので、モチベーションが維持しやすかったかなと思います。

漫然と授業を受けたり、課外授業を申し込んだりしただけでは成果はあがりません。成果を上げるために必要なのは「やる気」です。やる気を出すために有効なのは志望校を決めることです。といっても具体的に〇〇大学と絞り込むのが難しい人は、聞いたことがある大学や目に留まった大学を調べてみることから始めて、大学受験のイメージをつくるだけでも勉強に対する意識が変わってくると思います。

大学受験は長丁場です。その長い期間コンスタントに勉強し続けるためには、自分にとって効果的で効率的な時間配分を早くつかむことが大切です。それができたなら、あとはそれを続けることですが、これも「やる気」がなければ続けられません。しかし、疲れたり、どうしてもやる気が起こらない日もあるでしょう。そんな時は無理に勉強しようとせずに思い切って勉強をやめて休憩するというような切り替えも必要だと思います。

最後に、大学受験を乗り切るには、体調管理や受験に関する情報の把握なども重要です。万全の準備を整えて本番に臨めば、結果はおのずからついてくると思います。最後まで自分を信じてがんばってください。

堀井 弘明

出身中学校：皇學館中学校

進路先および合格校：滋賀大学 経済学部 経済学科

合格校：1. 南山大学 経済学部 経済学科

2. 南山大学 総合政策学部 総合政策学科

3. 皇學館大学 教育学部 教育学科

4. 皇學館大学 文学部 国史学科

5. 中京大学 経済学部 経済学科

皆さんは高校生活で何に「一生懸命」取り組んでいますか？勉強や部活動、他にも様々あるでしょう。私は有名な大学や会社に進学、就職することだけが大事であるとは全く思いません。むしろ自分の夢中になれることで社会の役に立ってもらいたいと思っていることを、まず伝えておきます。

私は目標としている進路が中学三年生の時には決まっていました。その目標のために、私は必死で勉強に励みました。高校一年生の時は、「お前に行く大学はない。」と担任に言われる程、偏差値が低かったのです。しかし、私には私の事を応援してくれる先生がいました。その先生に私は、幾多の叱咤激励をいただきました。その言葉を励みに勉強に取り組み、高校二年生の冬前には、模試で校内トップクラスの成績をコンスタントに残すことができるようになりました。特に英語は、偏差値が10以上上がりました。その時の感動は、今も忘れることができません。

では、具体的に合格の秘訣を二つ教えます。一つ目は課外授業に参加することです。やはり普段の授業以外に、課外授業へ参加することで効率よく勉強でき、他の受験生に差をつけることができます。だから、私はほとんどの課外授業に参加しました。二つ目は、積極的に模試や検定に取り組むことです。模試を受けることで自分の実力を図ることができます。検定に関しては、特に英語検定2級の場合、高校卒業程度のレベルなので、英語検定の学習は入試対策に直結します。私は英語検定の勉強にしっかり取り組んだことで英語の成績が上がりました。

最後になりますが、自分の事を支えてくれる親や先生方への感謝の気持ちを忘れないでください。そして何よりも今、勉強できることに感謝してください。実際私の近くには、勉強がしたくてもできない人がいました。自分の進路を実現するために、やる気と感謝の気持ちを忘れず、精一杯頑張ってください！

村島 大宜

出身中学校：皇學館中学校

進路先および合格校：立命館大学 法学部 法律学科 司法特修

合格校：1. 関西大学 法学部 法学科

2. 近畿大学 法学部

3. 愛知大学 法学部

4. 龍谷大学 法学部

5. 都留文科大学 文学部 現代社会学科

希望通りの進学先を実現するにはどのようにすべきか。おそらく、これから受験を迎える人達の大半はこれに頭を抱えていることでしょう。1、2年生とは比べ物にならないほど劇的に環境が変化し身の回りのライバル達は虎視眈眈と目標を定め志望校を見据えています。もちろん身の回りとは校内だけではありません。闘う場は校内から全国へと広がっているからです。今まで通りでは通用しないことがたくさんあります。では、どのようにすればよいか、これからの秘訣を紹介します。

最初に得意科目を作ってください。どんな苦境に陥っても何よりの自信となります。得意科目とは偏差値60以上で、常にそれが維持できている科目を指します。幸いにも他校に比べて皇学館では模試が多く実施されているのでまだ得意科目がわからない人はこれからある模試をどんどん活用して見つけてください。なるべく早い段階から磨いていくことが大切です。

次に英語は毎日必ず勉強しサボることの無いようにしてください。どんな大学でも必ず英語は必要です。もし英語が苦手ややるべきことが分からないならばまず基本となる英単語、熟語を覚え、並行して毎日長文を繰り返し黙読や音読をすることでかなり力になります。英語は馴れを実感することが何よりも大切です。分からない事は先生を追いかけて分からない箇所を質問し、少しでも早く馴れの境地に近づいてください。

最後に受験は少しでも早く進路を決め、対策をしたものが勝ちます。僕は中学以前からなりたい職業を決めていました。おかげで目標がぶれることなく一直線に頑張れました。ですから皆さんもなるべく早く進むべき道を決め、実現に向けて努力に励んでください。みなさんの勉学に対する御武運をお祈りいたします。

前村 美来

出身中学校：皇學館中学校

進路先および合格校：滋賀大学 経済学部 情報管理学科

合格校：1. 京都産業大学 経済学部 経済学科

2. 中京大学 経済学部 経済学科

私は、センター試験で思うように結果を出すことができず、ずっと第一志望としてきた滋賀大学の合格率が20%以下と判定され、一時は志望校変更も考えました。しかし、第一志望を変えたくない、絶対に滋賀大学に行きたいという思いを貫き、2次試験までの1ヶ月間、毎日学校に通い課外を受け勉強し続けました。その結果、E判定から合格することができました。

2次試験の科目は、数学と英語でした。数学は、まず赤本を10年分解きました。その後は、問題集をひたすら解き、分からないところは先生に解説していただきました。英語は高校1年生から3年生までのノートを全て見直して復習し、単語は一冊の単語張を使って繰り返し覚ええました。センター試験では、時間配分がとても重要で、正確に早く読むことが要求されます。その場合、英単語を覚えておくことが有利です。2次試験の長文読解の時にも有利にはたらくと思います。

センター試験でも、2次試験でも、とにかく本番に即して繰り返し練習することが大切です。そのために早くから過去問を解き、対策しておくことがよいと思います。特に、国公立大学を受ける人は、科目数が多いため、計画を立て、できるだけ早くから受験勉強を始めてください。社会・理科の対策も大切です。私は世界史が好きで、2年生の時からずいぶん時間を割いて学習してきました。そのため、世界史の学習時間を、3年生で学習を始めた科目（政治経済）や苦手な科目学習の時間に使うことが出来ました。得意科目をつくることも大切だと思います。

私が、奇跡的に第一志望校に合格できたのは、最後まで自分自身を信じ、諦めなかったことです。そして、周りに応援してくれる友人や、励ましてくれる先生方がいたからです。みなさんも、様々な方のアドバイスに耳を傾け、自分にあった学習方法を確立し、最後まで自分を信じて、第一志望に合格する！という強い気持ちを持って頑張ってください。

吉村 静佳

出身中学校：皇學館中学校

進学先：武庫川女子大学 文学部 教育学科

- 合格校：1. 釧路公立大学 経済学部 経済学科
2. 武庫川女子大学短期大学部 幼児教育学科
3. 神戸女子短期大学 幼児教育学科

「受験勉強は3年生になってから」と考えている人、少なからずいると思います。私もそう思っている一人でした。しかし、受験を終えた今、私はその考えは間違っていたと痛感しています。

私の受験方法は、公募制推薦入試でした。受験校の合否は、高校1年生から3年生までの評定の平均を点数化したものと、当日の学科試験の点数との合計で決まります。つまり、1年生からの学習の成果が直接合否にかかわります。私は、高校2年生の冬まで、特に受験を意識した学習もせず、家庭学習時間も決して多いとはいえませんでした。しかし、「日々の授業をきちんと聞き、定期考査の学習はしっかりする」ということを心がけてきたので、評定平均は比較的有利に使えました。学科試験もやはり、3年生からの本格的な学習では遅いと感じました。直前かなり焦りながら勉強をしていました。私の場合、受験科目が得意科目であり、2年生の初め頃から意識して学習していた科目であったので、この点でも有利だったとは思いますが……。

3年生になり、私自身ずいぶん変わったと思います。3年生の夏休み、毎日学校に行き、赤本を解き、それまでの遅れを取り戻すように一生懸命勉強しました。そして、第一志望に合格することができました。こんな風に私が変わることができたのは、先生方の励ましがあったからです。先生方がいたから、勉強に遅れていても、諦めることなく最後までやり遂げることができました。

みなさんに私が言えることは、私のように直前で焦って学習するのではなく、早めに勉強を始めることが大切だということです。そして、自分自身をよく知り、自分自身にあった受験方法を選択してください。そして、何より大切なことは、自分を励ましてくれている全ての人に、感謝する気持ちを忘れないことだと思います。皆さん、頑張ってください。

山口 竜司

出身中学校：皇學館中学校

進路先および合格校：三重大学 工学部 機械工学科

合格校：1. 立命館大学 理工学部 ロボティクス学科

2. 近畿大学 理工学部 機械工学科

私は勉強は何でも基礎が大切だと思い、普段から基礎をしっかりしました。また、私が一番ためになったのはサテラインです。サテラインは成績をのぼすだけでなく勉強の仕方も学べ、学校では気づきにくいようなこともわかりとてもためになります！冬休み、夏休みと言った長期休暇ではサテラインを受講し勉強しました。みなさんにも長期休暇では学校のサテラインの受講をオススメします。また、サテライン予備校での年間授業の受講もオススメします。絶対有効です。あと、私がしたことといえば模試の復習です。間違えた問題を復習することで、次見た問題が出た時に点数につながります。

結果を出せたのは日々の努力の積み重ねと先生方や、友達のおかげでもあります。わからない問題があればわかるまで説明していただき、勉強のポイントをたくさん教えていただきました。また、両親や友達には辛い時は支え励まされたりしました。後輩方のみなさん、これからは勉強が難しく大変になります。時には先生にきつく叱られたりすることがあると思います。しかし、自分のためだと思い頑張ってください。何にでも日々の努力の積み重ねが大切です。

西岡 彩

出身中学校：皇學館中学校

進路先：三重県立看護大学 看護学部 看護学科

合格校：三重県立看護大学 看護学部 看護学科

私が看護師になるために国公立大学に行きたいということを決めたのは、高校 2 年生の秋です。決定後も、特に受験勉強という特別な勉強はしていませんでした。3 年生に進級後も、周りは受験を意識して勉強していましたが、私はなかなか受験勉強に集中することができませんでした。また、推薦入試を受けることを決めたのは、入試の 1 ヶ月前でした。

進路決定をすることは、明確な目標ができるということです。勉強は明確な目標を持つと、より具体的に勉強を進めていくことができます。だから、なるべく早く進路決定をすることが理想的です。私はその点では、周りの人よりずいぶん遅く、理想的ではなかったと思います。しかし、日々の授業をきちんと受け、宿題や課題の提出をきちんとやること、そして、学校での成績をきちんととることを心がけ、実行してきました。また、私は高校 3 年間、一日も遅刻することや、欠席することなく、皆勤賞を頂きました。

進路決定が周りの人より随分遅かった私が、希望通り進路を叶えられたのは、毎日学校に元気に通い、学校での授業や課題をきちんとなしていくことにより、自然と受験に対応する基礎力がついていったからではないかと考えています。

そして、何より、進路決定で迷ったり、勉強で行き詰ったりしたとき、いつも私は教員室に行き、先生方に悩みを聞いていただいたり、勉強を教えていただいたりしました。私は誰よりも教員室に通った生徒であったと思います。

しかし、だからこそ、迷いそうになったり、勉強が嫌になったりしても、最後まで諦めることなく、やり遂げられたと思っています。ですから、みなさんもたくさん先生の味方につけて下さい。